

2010年3月29日

データセンターやサーバー室におけるインフラ設備のライフサイクルをサポートする
「ファシリティライフサイクルソリューション」のメニューを強化
「設備運用管理サービス」提供開始

日立電子サービス株式会社（以下「日立電サ」、本社：東京都港区三田、資本金：60億円、代表取締役社長執行役員：百瀬 次生）は、当社のエンジニアがお客さまのデータセンターやサーバー室の運用・管理業務を代行する「設備運用管理サービス」を4月1日から提供開始します。

これにより、主に中規模以上（100 m²以上）のデータセンターやサーバー室を所有されるお客さまに対し、データセンターやサーバー室におけるインフラ設備（ラック・UPS・分電盤・空調機等）のライフサイクルの課題を解決する「ファシリティライフサイクルソリューション（以下「ファシリティ LCS）」の体系が完成し、ワンストップでサポートすることが可能になりました。

< 「ファシリティ LCS」の商品体系 >



■背景

近年、データセンターやサーバー室では、システムを安定稼働させることに止まらず、コスト削減、省エネ環境対応、セキュリティ対応、事業継続計画（BCP）など多様化する問題への対応が必要で、技術者に求められる役割はますます高度化・複雑化する一方、技術者の確保は困難になってきています。当サービスは、当社のエンジニアがラック・UPS・分電盤・空調機等の ICT インフラ設備における運用管理業務を代行し、“システムの安定稼働”と“省エネ”を支援するサービスです。

■サービスの特長

(1) 運用負担軽減

専任技術者が計画段階から運用・廃棄にいたるまで設備環境に関わる管理業務を代行します。また日々の活動を通して改善活動を実施します。

(2) 運用品質の向上とリスクの軽減

環境診断や適切な構成管理、キャパシティ管理、改善活動を行うことで、システムの運用管理の品質を向上させると共に、設備・環境の異常に伴うシステムダウンや、電源容量不足、熱問題などのリスクを未然に検知・排除します。

(3) 継続的改善

お客さまシステムの安定稼働と定量的指標および設備環境をモニタリングしながら、定期的に課題を把握し、サービスの目標(KPI)を定めて、継続した対策を実行します。

■「設備運用管理サービス」のサービス内容

項	項目	サービス内容	
1	運用負担軽減	<p>巡視</p> <p>サーバー室内の設備機器の稼働確認や環境測定などを実施します。</p> <p>問題管理</p> <p>お客さまからの問合せに対応します。また点検業務、障害、変更発生時にベンダへの連絡など、点検作業や復旧作業のサポートを実施します。</p> <p>定期レポート</p> <p>各業務結果を定期的にお客さまへ報告します。</p>	
	2	運用品質向上	<p>構成管理</p> <p>各構成管理図面などを管理します。(増設・移設時に更新します)</p> <p>キャパシティ管理</p> <p>設備機器や負荷機器の仕様や、キャパシティを管理します。 ・電源容量管理 ・熱容量管理 ・耐荷重管理 ・スペース管理 ・寿命管理</p> <p>変更管理</p> <p>設備機器等の追加、更新、撤去を実施する際は、適切なレイアウト、電源供給などを配慮して実施します。</p>
		3	継続的改善

■提供価格

設備運用管理サービスは個別見積りとなります。

(参考価格:対象規模 100 m²、20 ラック相当、初期導入費別途で月額料金¥420,000～(本体価格¥400,000～))

■販売開始

2010年4月1日から

■販売目標

2012年に44億円/年(ファシリティLCS全体で)

■関連情報

<http://navi.e-densa.com/classify/products/faclics.html?ad=1&ns=001>

以上

■商品・サービスに関する問い合わせ先

日立電子サービス株式会社 環境・設備ソリューション開発部【担当：井村】

〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 (三田MTビル)

TEL: 03-5441-9330 (ダイヤルイン)、FAX: 03-5441-9329

■報道機関問い合わせ先

日立電子サービス株式会社 社長室広報グループ【担当：城戸崎^{きどさき}】

〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 (三田MTビル)

TEL: 03-5441-9262 (ダイヤルイン)、FAX: 03-5441-9243